

# 大阪府立茨田高等学校 令和2年度 第1回学校運営協議会 議事録

開催日時：令和2年6月18日（木） 15時30分より

開催場所：府立茨田高等学校 会議室

出席者（敬称略）

協議会委員・・・川村幸治、早坂三郎、寺野雅之、綿世良一、渡邊哲朗、渡辺みき

事務局・・・・（校長）伊藤慎司、（教頭）山下尚亮、松井くみ子、

（首席）西本敦史

記録・・・・西本敦史

（★と○：協議会委員 ●：事務局）

## 第一部

### 1. 学校長あいさつ

本校の教育で、『社会の一員として活躍する人材』となるよう育てていきたい。

### 2. 自己紹介（協議会委員・事務局）

#### 学校経営計画の説明

- 生徒の興味関心をさらに高める授業を、全教員が行えるよう取組みを行っていく。
- 本校の魅力を高めるため、部活動入部率を上昇させる事や、本校独自のコミュニケーションコースの取組みを広げていく。

#### 本校の現状についての説明

- 中学校卒業生数の減少や本校の取組みがしっかりと伝わっていない事もあり、入学者の減少が起こった。
- 生徒の状況は、落ち着いているが、長欠・不登校の生徒が増えている。
- 入学後に不安等で保健室を利用する生徒が多いが、養護教諭2人体制で、生徒に対して丁寧な対応を行っている。

### 3. 協議

テーマ『茨田高校の未来への展望について』

(各協議委員からの意見等をいただく) 議長：川村様

- 入学者数の増加に向け、教育内容の充実や面倒見の良さなどを、中学生に向けてアピールする必要がある。
  - 地域から見て、ずいぶん生徒は良くなってきたと感じている。しかし、中学を卒業する生徒が減り、入学する生徒も減っている。また、茨田に入学する生徒数と卒業する生徒数の差が大きいと感じている。
  - 今の中学生の特徴は、やんちゃが減り、不登校生徒数が増えた事だと感じている。また、支援の必要な生徒も増えているように感じている。ただ、ゲームをするなど、家に籠ってしまうので、学校としての支援をしっかりと行えない場合も出ている。高校に進学する生徒の一定数は、『学校に登校しなければならない』事は理解しているが、『実際に学校に行く』行動までは起こせていないのでは。時間をかければ立ち直る生徒もいると思うが、高校には『進級規定』があるため、結果として進級できない生徒がいるように感じた。
  - 茨田高校では、退学する生徒は出てしまう。できるだけ支援を行っていくが、それでも学校に気持ちが向かない生徒も出てしまう。これを減らすため、生徒が学びやすくなるよう、学校としてピア・メディエーションを取り入れるなどの取り組みを行い、その生徒を支援する教員にも働きやすい環境になるよう変えてきた。その取り組みの成果として、落ち着いた生徒が増えているようにも感じている。
  - 子どもは茨田高校に入学して成績が上がり、学校生活が楽しいと話してくれます。
- ★具体的に、どのように取り組んでいけば良いと考えているのか、取り組みを行っている学校にも意見を聞いてみたいと思います。
- 学校に来るようにする働きかけとして、『人間関係づくり』『勉強が分かる自習室の取り組み』を行い、学校に来ることが不安な生徒の減少に努めています。
  - 『茨田高校に来たら、勉強が苦手でも、分かるように支援してくれる』というのが、入学生に伝わってきたと感じています。

●『毎日、学校に通う』のが難しいと感じる生徒はいる。ただ、分散授業の時は、欠席も少なく、頑張っていた。授業内容を工夫していけば、休む生徒を減らす事は可能だと感じている。ただ、今年はコロナ対応があって生徒を集める事ができず、学校の思いを全員に伝えきれていないようにも感じている。

○今の茨田高校生は、地域の活動にも参加してくれ、生徒の様子も良くなり、信頼している。もっと地元から入学しても良いはずだが。高校を選ぶ時に、何が足りないのだろうか。

○分散授業の時に欠席が少なかったのは、基本的に『学校は安全なんだ』と感じている生徒の意識の表れではないのだろうか。

★大学でも、オンライン授業をはじめたが、感染拡大予防対策などに対して、教員や大学に対しての負担が増えている。入学した生徒に対して、しっかりとした教育を保障するのは、教職員への負担も大きいし、学生も疲れるのではと心配している。この状態で新たな教育活動を行っていくのは難しいと感じている。

茨田高校の魅力を高めるためには、生徒の自己肯定感を高め、学校が居場所となるように、働きかけ続ける必要がある。生徒に対して求めるもの（課題）をはっきり示し、適切な支援（自習室など）を行う事で、達成感を高めていくという現在の取組みは、生徒の自己肯定感を高める効果が期待できる。また、学校として取り組んでいる『漢字検定』や『英語検定』などの資格取得サポートも、生徒の自己肯定感を高める効果が期待できる。

★経験の少ない教員が多い現状から考えて、教員力を向上させる職員研修を効果的に行っていく事ができれば、現在の取組みは、より効果を上げるはず。

#### 4. 謝辞

●多くの助言をいただき、ありがとうございました。これまでの本校の取組みを、さらに効果あるものにしていくため、職員研修の実施等も検討していきます。